

平成18年死亡災害速報

当月掲載分 1件1人(平成18年累計72件72人)
 前年同月号掲載分 0件0人

月日・署別	業種 労働者数	事故の型 起因物	性別・年齢 職 種	発 生 状 況
10月14日(土) 9時30分 (伊丹 5)	貨物取扱業 27人	墜落・転落 その他の装置等	男・57 作業員	高さ約90cmの作業台上の建屋天井にある蛍光灯(高さ約4m)を取り替えるべく、付近にはしごを設置し被災者が登り、他の労働者がはしごの足元を押さえ作業を行っていたところ、当該蛍光灯が落下した。これを避けるためはしごを押さえていた労働者が退避し、これによりはしごが滑り、はしごと共に墜落し負傷した。その後、入院加療中であったが年末に容態が急変し、平成19年1月1日に死亡した。

平成19年2月号掲載分の内、12月6日西宮署管内で発生した死亡事故は、下記の通り変更されました。

発生年月日	変更前	変更後
12月6日(水) 事故の型 起因物	墜落・転落 環境等	墜落・転落 仮設物・建築物・構築物等

平成19年死亡災害速報

当月掲載分 6件6人(平成19年累計10件10人)
 前年同月号掲載分 8件8人(累計11件11人)

月日・署別	業種 労働者数	事故の型 起因物	性別・年齢 職 種	発 生 状 況
2月26日(月) 12時00分 (加古川 2)	建設業 6人	飛来、落下 物質・材料	男・64 作業員	事務所の解体工事において、粉砕機で解体した屋根や壁材を解体中の建物の外に掻き出している最中、待機しているはずの被災者が不意に破砕機の前を横切り解体中の建物内に立ち入った。被災者が解体中の建物に立ち入っていたところ、2階西側の内壁のモルタル材約21kgの一塊がはがれ落ち、約6mの高さから被災者の背中に落下した。
3月6日(火) 3時00分 (加古川 3)	製造業 15人	墜落・転落 その他の装置等	男・65 作業員	日本酒の品質管理で、醪(もろみ)の発酵状況確認のため、タンクに移動はしごを立て掛け、タンク上部のマンホールから柄杓で漏斗(ろうと)に試料(醪)を採取するとき、タンクの内部に墜落した。3月6日の午前9時頃、タンク内部でうつ伏せに被災者が浮いているのを発見された。
3月9日(金) 13時30分 (加古川 4)	教育・研究業 378人	交通事故(その他) 物上げ装置・運搬機械	男・55 研究者	出張する移動途中、駅ホームを西側から東側へ通行の際、線路に転落し入車してきた電車にはねられたもの。
3月15日(木) 22時20分 (相生 2)	製造業 50人	墜落・転落 その他の装置等	男・40 製造工	塗料製造作業が終了し、親企業と下請会社の労働者で、移動槽周辺のメンテナンス作業を行うこととなった。被災者(下請会社)は移動槽のエプロンと呼ばれる部分の塗装作業を行うため、うまを足場代わりにし、跨ぐ姿勢で下から3段目の踏面(高さ1.35m)に足を置いて立位の姿勢で塗装作業をしていたところバランスを崩して床面に墜落し被災した。
2月27日(火) 13時39分 (加古川 5)	運輸交通業 22人	はさまれ・巻き 込まれ 物上げ装置・運搬機械	男・30 運転者	トラックのシャーン置き場にて、運転手がトラックから降車して、トラックヘッド部とコンテナを搭載するシャーン部分の分離作業をしていた際に、トラックヘッドが動き出した。これを止めようと、運転手が運転席に乗りようとしたが、動き出したトラックヘッドとトラックヘッド右前方に置かれていた別のコンテナ側部との間にはさまれた。
3月20日(火) 15時50分 (姫路 1)	農林業 1人	飛来、落下 環境等	男・78 作業員	樫の木を伐木中に予定外の方向に木が倒れ、その下敷きになり被災者が即死した。当該伐倒木は高さ約18m、直径約70cmであった。他の作業員がチェーンソーを用いて木を切ったとき、被災者は滑車を用いて西側に木を倒すつもりであったが、伐倒木は南側に倒れてきた。